

毎週日曜発行
2026 2/22

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



仙台市は市火災予防条例を改正し、3月1日から乾燥や強風などで火災が起きやすい気象条件のときに「林野火災注意報・警報」を発令します。

昨年2月に岩手県大船渡市で発生した林野火災は鎮火までに1か月以上を要し、広い範囲で多くの建物に被害が出るなど、地域に大きな影響を与えました。また、今年1月には山梨県で大規模な

林野火災が発生し、広い範囲が焼失しました。林野火災は、ひとたび出火すると急速に延焼し、特に山間部では消防隊の立ち入りが難しく、消火活動が困難です。その結果、住宅などへの被害にとどまらず、尊い人命が失われる恐れもあります。

林野火災は、空気が乾燥し強い風が吹きやすい2月から5月にかけて多

く発生し、主な原因は火を使うときの不注意です。こうした火災を防ぐため、全国や宮城県内の自治体では新たな取り組みが始まっています。

仙台市も3月から乾燥注意報や強風注意報などが発表された場合に「林野火災注意報・警報」を地域ごとに発令します。

林野火災の注意報と警報

火は絶対に禁止です。バーベキューもアウトドア用のグリルやカセットコンロを使いましょう。

林野火災を防ぐ最善の方法は、火災を発生させないことです。たき火やバーベキューの際は①水バケツや消火器を準備し、周りに燃えやすいものがないか確認する②火を使っている間はその場を離れず、使用後は十分に水をかけて完全に消火する③といった基本的な対策は今までと同じように守ってください。

そして最も大切なのは、乾燥して風が強い日は「注意報や警報が出ている日は「今日は火を使わない」と決めること。「これくらいなら大丈夫」という油断が取り返しのつかない火災を招きます。

子どもだけで火を使わないことはもちろん、家族一人一人が油断しない行動を積み重ねることが、多くの命と自然、そして暮らしを守る鍵になります。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

乾燥・強風時火を使わない



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

35

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

仙台市の林野火災注意報・警報を詳しくチェック!

	発令区域	
	西部	東部
注意報	乾燥注意報 + 強風注意報	乾燥注意報 + 暴風警報
警報	乾燥注意報 + 暴風警報	林野火災注意報の要件に加えて①少雨に関する気象情報」が発表されたとき②火災予防上危険と認められたとき

POINT!
★山が多い西部と平地が広がる東部で発令基準が異なるよ。
★乾燥や強風、暴風に関する気象庁の発表を踏まえて市が発令するかどうかを決めるよ。

林野火災注意報・警報発令中は火の使用が制限されます

×野焼き、キャンプファイア、たき火など



安全に火を使える器具は除きます

○グリルを使用した炭火焼き、カセットガスコンロなど器具での火の使用



イラスト・多田健一郎

この日 何の日

◇28日(土) 世界希少・難治性疾患の日
希少・難治性疾患のより良い診断や治療、患者の生活の質の向上を目指す日です。うるう年の2008年2月29日にスウェーデンで始まり、毎年2月最終日に世界各地で啓発イベントが開かれるようになりました。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング